

受入団体名:草津市選挙管理委員会

プロジェクト/団体プログラム名:
若者の投票率向上に向けた選挙イベント

募集人数
5～8名

<活動期間: 2026年10月～2027年1月 活動日数: 10日程度>

<活動日or 活動パターン>
☒週1日程度・定例、☐月1～2回・不定期 ☐その他

<活動の流れ>

日時	活動内容
10月初旬	オリエンテーション(顔合わせ)、 選挙啓発についての説明
10月中旬	イベント企画
10月下旬	スケジュール設定、役割分担
11月	準備(イベント設営に向けた準備、 啓発活動(SNSやHP等の活用))
12月	イベント当日(場所:立命館大学)
1月	振り返り

<主な活動場所>
立命館大学、草津市役所
(最寄駅・バス停など:南草津駅、草津駅)

<キャンパスからの交通手段>
JR琵琶湖線
(JR南草津駅→JR草津駅)

<活動に必要な費用>
活動場所までの交通費

<参加の姿勢>
企画の立案、スケジュール管理およびイベント
準備、当日の運営までを行い、メンバーと協力
しながら進めていただきます。

<コミュニケーションの手段>
☒電子メール
☒LINE ☒電話
☐その他()

<活動のテーマと主な内容>

投票率向上のために選挙イベントを実施する

投票率が年々低下傾向にあり、特に投票率の低い若者、子育て世代の投票意欲の向上を図るべく、立命館大学にて選挙イベントを開催します。過去に実施した投票イベントよりも、もっと投票者数を増やすにはどうしたらよいか、学生が主体となり考え、実施していただきます。

【選挙イベント概要】

12月初旬 選挙イベント実施予定(立命館大学)
内 容 : 有権者である若者をターゲットにした選挙体験
主 催 : 草津市選挙管理委員会

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

毎月、全国で何らかの選挙が執行されているのは御存知でしょうか？国会議員を選出する選挙、地方議員を選出する選挙、知事や市長を選出する選挙と種類はさまざまです。昔と比べて投票率は年々低下していますが、特に若者世代(10～20歳代)の投票率は、市議会議員選挙では近年20%台を推移しており他の世代と比べても低くなっています。

若者世代が投票に行かないと、若者の意見が政治に反映されにくくなります。日本の未来である若者に投票に行ってもらうにはどうしたらよいのでしょうか？選挙イベントを通じて、学生の皆様の視点から、投票率を向上させるための施策を考えていただきたいと思います。

<学生が期待できる学び>

・「企画、計画、実施」

投票者数を増やすために企画を行い、実施に向けた計画を立てるところから、当日の運営までを体験でしていただくことで、企画力、実行力を学んでいただくことができます。また、イベントを成功させることで達成感を得ていただくことができます。

・「今後の日本を変えることができる」

若者の投票率が低いと、若者の意見が政治に反映されにくくなります。多くの若者に選挙の大切さを知ってもらい、若者の投票率が上がることで若者の意見がより政治に反映されるようになり、皆様にとってより豊かな生活が期待できます。

<活動紹介>

選挙イベントを開催します

草津市選挙管理委員会では、啓発事業として、立命館大学で、選挙イベントの開催を予定しています。このイベントは、有権者である若者をターゲットにした選挙を体験いただき、将来的な若者の投票率の向上、また、投票率の低い若者、子育て世代の投票意欲の向上を図ることを目的とします。



若者の投票率がとても低くなっています

草津市の選挙における投票率は年々低下しています。特に、若者世代（10～20歳代）の投票率は、他の世代と比べても特に低くなっています。若者世代が投票に行かないと、若者の意見が政治に反映されにくくなります。



投票率を向上させる方法を探る

私たちは選挙イベントを通じて、子どもたちやその親世代の人たちに、選挙で自分たちの町のことが決まっていくことや、投票の簡単さを知ってもらうことで、選挙に親しみをもってもらい、本番の選挙でも効果がありそうな啓発方法を探っていきたいと思っています。

学生目線の選挙啓発

学生のみなさんには、イベントの企画・運営や効果的な啓発方法のアイデア出しなどをお手伝いしたいと考えています。若者の投票率の向上のため、一緒に考えてみませんか？

【活動例】（実際に何に取り組むかは、学生のみなさんに企画していただきます！）

- ・オリジナル啓発グッズの作成
- ・マスコットキャラクターのデザイン
- ・啓発チラシ、ポスターなどの作成
- ・選挙公報の作成

